



2016 シーズンレポート Vol2

スポンサー各位

TEAM BRIDE マネージャーの武居です。

平素より TEAM BRIDE をご支援いただきありがとうございます。

今回は、2016 年シーズン後半戦、6 月からの模様をレポートでお届けいたします。



熾烈な 86 レース プロクラスの花も終盤戦。どんな戦いが繰り広げられるか。

年々参加者も増え、人気も上昇している Gazoo 86 BRZ レース。

その華やかさに隠れて見えにくいですが、レースの結果を見返すと、毎戦のように表彰台の顔ぶれが違う…また、名を馳せたプロドライバーが勝てる確率が減りつつあるのがわかる。

シーズンが始まる前からわかっていたことですが、今年もとても熾烈なシーズンとなりました。

■レースプレビュー

後半戦は北海道から鈴鹿まで、北から南まで全くコンディションの違う開催地。

熊本地震の影響により、中止になったオートポリスランドの代替戦となった Rd7 十勝ラウンド。

27 号車には久保選手に代わり、中川隆吾選手が初登場。約 1 年前にレースを始め、いきなりのプロクラスでの参戦となったが、物怖じのしないレースを展開。予選から順位を上げて無事完走。

Rd8 鈴鹿は 926 号車に見並選手が久しぶりの搭乗。メカニックとして今年 1 年 86 レースとスーパー耐久レースを引っ張ってきてくれた見並選手。久しぶりの 86 での走行も、マシンを無事ゴールまで運んでくれました。流石です！

シーズンを振り返ると、11号車のいとうりな選手が全レース出場の皆勤を果たしました。

レース経験は浅いながらもプロクラスとして参戦。結果が出ずに、いとう選手も苦しみ悩み抜いたシーズンとなりましたが、予選よりも良い順位でゴールをすることができるようになり、成長がひしひしと感じられました。

戦うレースクイーン、いとうりなのさらなる成長に期待します。

	11号車		27号車		55号車		926号車	
	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝	予選	決勝
Rd5. 10/1 十勝スピードウェイ	28位	24位	27位	25位	-	-	24位	27位
Rd6. 9/2~3 富士スピードウェイ	41位	29位	38位	20位	31位	30位	30位	18位
Rd7. 10/2 十勝スピードウェイ	25位	23位	26位	24位	-	-	23位	20位
Rd8. 10/29~30 鈴鹿	33位	36位	-	-	31位	34位	30位	32位





初参戦ならではの、走り続けることの難しさ。

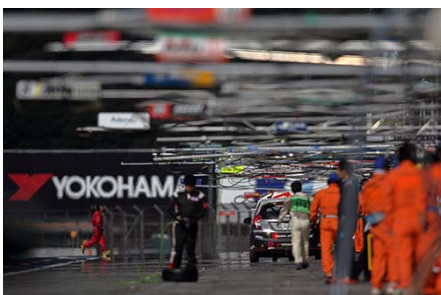
今季よりチャレンジを始めたスーパー耐久選手権。
 ただ走っているだけ、長く走るだけと思われがちな耐久レースですが、実際に参戦するとこれほど過酷なレースはありません。
 速く走る技術はもちろんのこと、燃費計算、壊さないように走る慎重さ、壊したら素早く直すメカニックの技術、そしてアクシデントに対応する経験値…マシン、スタッフ、ドライバーすべてが噛み合わないと戦いきれないレースです。
 後半戦は、初参戦ならではの「超えないといけない壁」をいくつも超えました。



■レースレビュー

Rd4 の富士スピードウェイは、十勝 24 時間以来となる長さの、9 時間耐久という超長丁場。まさかの長丁場の序盤で、過酷なシリーズで戦ってきたマシンが突然悲鳴を上げ、マシンストップ。
 マーシャルの手により、ピットまで戻ってくることができたものの、無念のリタイア。
 しかしレースを捨てる気はさらさら無く、メカニックが必死の修理をして、マシンを戦いに再び送り出し無事チェッカーを受けることができました。悔しさに、思わず涙があふれる…。
 あまりよくない流れになってしまうか、と思ったものの、最終戦 オートポリスラウンドでは 4 位入賞。
 傷ついても復活…まさに、震災の被害から復活したオートポリスのように「絶対にめげない、あきらめない、頑張ろう」という全員の気持ちが実を結んだ結果となりました。

	予選	決勝
Rd4. 9/3～4 富士スピードウェイ	2 位	リタイア
Rd5/14(土)・5/15(日) 岡山国際サーキット	8 位	12 位
Rd6/11(土)・6/12(日) オートポリス	予選中断	4 位





全 15 戦と最長のカテゴリ、TGR ラリーに挑む！

北は北海道、南は九州までと全国で転戦する TGR ラリーシリーズ。
ライバル(?)モリゾー選手とのポイント争いも、ついに 3 ポイント差と接近戦。シリーズを戦うこの 86 を世に生み出させてくれたモリゾー選手こと、豊田章男社長を敬意を持って超えていかねばいけないシリーズ。の行方は？



■レースプレビュー

表彰台圏内で戦うも、最後の最後でライバルに美味しいところを持っていかれてしまう苦しく、辛いレース展開が多かったが、それでもコンスタントに入賞をしているのが、流石村木選手と言えるでしょうか。

またそんな村木選手を支え続けたコドライバーの佐々木選手。息の合った戦いで、マシンを壊さずに戦い抜いた後半戦でした。

なお、福島ラウンドでは、ブリッドギャルズのいとうりな & 織田千穂がオクヤマレーシングより参戦。

ハイブリッドカー、そしてオートマチック車という、難しく曲者のクラスですが、見事優勝を勝ち取ることができました。

	結果
Rd8 7/10 吉野ヶ里	4 位
Rd10 7/31 渋川	4 位
Rd11 8/21 福島	4 位
Rd12 8/28 丹後半島	6 位
Rd13 9/4 豊浦	5 位
Rd14 9/11 浅虫	4 位
Rd15 10/16 恐竜 勝山	7 位





PN2 クラス、櫻井選手と鳥居選手の表彰台の奪い合い

強豪ぞろいの全日本ダートトライアル選手権。

また、そのレースの性質上毎ラウンド横転など無事に済むことの少ない、ある意味サバイバルなレース。

TEAM BRIDE も 3 クラス 4 台で参戦していますが、その中でも熾烈な戦いが繰り広げられている PN2 クラス。

以下の順位表を見ていただいてもわかる通り、ある意味櫻井選手と鳥居選手の表彰台の奪い合いともなりつつある。

後半戦に来て、なんと櫻井選手が 4 戦中 3 度の表彰台、2 度の優勝を果たしており、鳥居選手も負けじと表彰台 1 度、入賞。

チームとしては、とてもうれしい競い合いが繰り広げられていました。(本人たちは大変ですが…)

最終戦も優勝をもぎ取った櫻井選手は、11 月 25 日に開催された JAF 表彰式にてシリーズ表彰を受けました。

	PN2 櫻井	PN2 鳥居	N1 岡村	SC2 小関
Rd5 7/10 サーキットパーク切谷内	2 位	5 位	-	-
Rd6 7/31 丸和オートランド那須	優勝	9 位	-	12 位
Rd7 9/4 今庄	6 位	2 位	13 位	9 位
Rd8 10/2 テクニクスステージタカタ	優勝	6 位	14 位	12 位



今季 2 勝の櫻井選手、JAF 表彰式にて表彰されました



鈴鹿を飛び出し、ツインリンクもてぎ、そして菅生での戦いに挑む！

今までは鈴鹿開催されてい Fit1.5 チャレンジカップに参加をしていますが、後半戦は三重県を飛び出し、菅生ともてぎで開催される JAF もてぎ・菅生ツーリングカー選手権にも参戦をいたしました。

ドライバーは JOY 耐に BRIDE ADVAN Fit で参戦し、ツインリンクもてぎの F1t1.5 クラスのコースレコードを塗り替えたことがある、実力派 太田郁也選手。

9月11日の菅生大会では、なんとこちらでもコースレコードを叩き出し、圧巻の走りでポール to フィニッシュを果たしました。

11月27日のツインリンクもてぎ大会では、優勝は逃したものの3位表彰台と素晴らしい結果でシーズンを終わりました。



	予選	決勝
9/11 スポーツランド菅生	1位	優勝
11/27 ツインリンクもてぎ	2位	3位



Other Story

■チャールズ選手、香港のCMに登場！

チャールズ カキン選手が、台湾の ESSO の CM に登場しました。プロドライバーとして、世界的にファンの多いチャールズ選手。普段のレース現場では見られない、その「イケメン」具合を是非ご覧ください。

チャールズ選手の CM やインタビューは ESSO Hong Kong のフェイスブックにてご覧いただけます。



■小林真奈美、タイにて開催された TOYOTA ワンメイクレース vioslady クラスにて優勝

9月19日、ブリッドギャルズ初代リーダー 小林真奈美が、タイで開催されているトヨタワンメイクレース第3戦にて念願の初優勝を果たしました。翌第4戦でも、2位スタートからの優勝と連続優勝を達成。日本を飛び出し、戦うレースクイーンとしてトップに立つまでになりました。その速さと美貌で、現地ではCMに起用されるなど今や大注目の女性ドライバーです。



■ブリッド★ギャルズ

後半戦では、モデルの濱崎千羽(はまさきちわ)ちゃん、綾波悠(あやなみゆい)ちゃん、そしてモデルでもありシンガーの水崎うきちゃんがブリッドギャルズとしてデビューしました！

雨の中、暑い日、寒い日、風の強い日でも、笑顔を絶やさず素敵な笑顔でチームに華を添えてくれました。ありがとう！また、彼女たちを応援して下さるファンの皆様。プレゼントや写真などたくさんいただき、ありがとうございました！彼女たちが変わってお礼申し上げます。ちほ、れな、ちわ、ゆい、うきをこれからもよろしくお願いします。



今回のレポートは以上になります。

今年 1 年も多大なご支援をいただき、ありがとうございました。

既にチームは来季に向け動き出しており、車両も新レギュレーションに合わせた車両づくりが始まっております。

シーズンの終わりは、来シーズンの始まり。

来シーズンは今年以上に戦えるチームとして成長することをここに宣言いたします。

どうぞ、来季も TEAM BRIDE をよろしく願いいたします。

ホームページ <http://team-bride.jp/>

TEAM BRIDE フェイスブックページ <https://www.facebook.com/teambrideno1/>

ブリッド☆ギャルズフェイスブックページ <https://www.facebook.com/bridegals/>

※今回のレポート・リリースについてのお問い合わせは以下までお願い致します。

〒457-0845

愛知県名古屋市南区観音町 9-114

チーム BRIDE マネージメント事業部

担当 富田馨

Tel:(052)691-7670 / E-mail:tomita@bride-jp.com